

蟹江町歴史民俗資料館

# 年報

第41冊

令和2年11月

蟹江町歴史民俗資料館

# 目 次

I	歴史民俗資料館概要	1
1	沿革	1
2	施設概要	1
II	歴史民俗資料館事業	2
1	展示	2
(1)	常設展示	2
(2)	特別展示	3
(3)	企画展示	3
2	教育普及	6
3	資料の収集・保管	13
(1)	収集資料の特色	13
(2)	収蔵資料の状況	13
4	調査・研究	15
5	情報提供	15
6	利用状況	15
III	文化財保護事業	17
1	文化財保護等事業費補助事業	17
2	文化財公開事業	17
3	文化財普及・啓発事業	18
IV	資料編	19

# 蟹江の歴史と文化 解説書

蟹江町歴史民俗資料館

# 江戸時代より前の蟹江

## ○昔は海だった！？

木曾川きそがわの下流の南部にある蟹江町には古代の遺跡いせきなどがなく、昔は海だったと考えられています。やがて人々は、川が運んだ土や砂がつもってできた「葭山よしやま」とよばれる草地を切り開き、そこへ住むようになりました。

## ○まちの形成

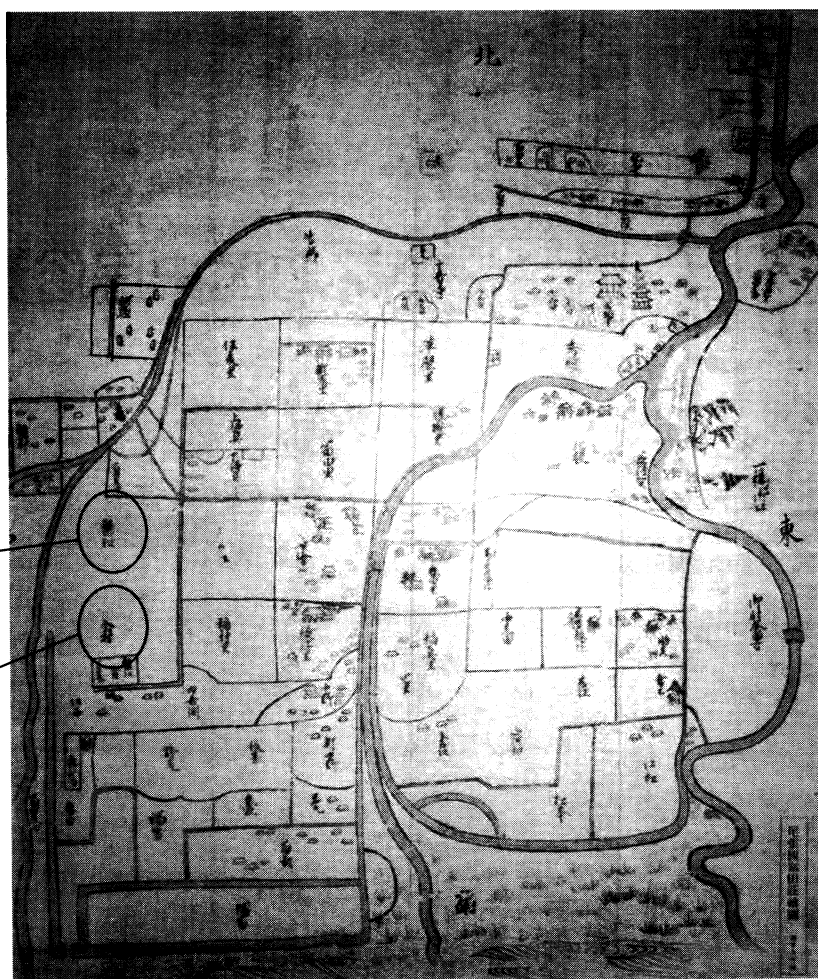
須成すなりの龍照院りゅうしょういんの十一面観音像かんのんぞうの内側に寿永元年じゅえいがんねん（1182）と書かれていることから、平安時代の終わりには多くの人々が住み、集落ができていたと考えられます。

## ○「蟹江」の地名

「蟹江」の地名が初めて文字で書かれたのは今から800年ぐらい前のことです。「蟹江」の地名は、川辺にたくさんの「カニ」がいたことからついたといわれています。

鎌倉時代かまくらの終わりに作られたという「尾張富田荘おわりとみたのしょう絵図えず」には、「蟹江」や「今村」の地名が書かれていますが、南の方には波がかかれていますので、南部はまだ海辺だったようです。

「蟹江」  
「今村」



おわりとみたのしょうえず  
尾張富田荘絵図（複製）より